

作物統計調査  
令和7年産水稻の収穫量（青森）

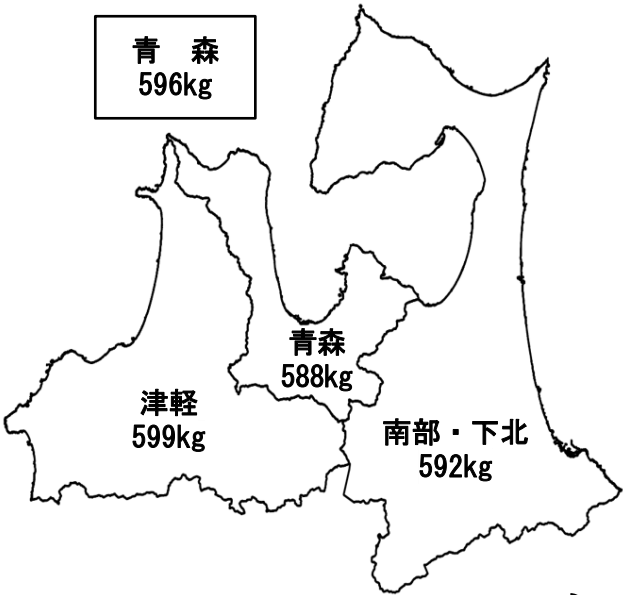
令和7年産主食用米の収穫量は、生産者が使用しているふるい目幅ベースで26万500 t（前年に比べ3万8,000 tの増加）。

1 令和7年産水稻の生産者が使用しているふるい目幅ベースの収穫量（主食用）は26万500 tで、前年産に比べ3万8,000 t増加となった。

これは、10 a 当たり収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）は、田植後の低温により全もみ数がやや少ないとなったことから、前年産に比べ2 kg減少の596kgとなったものの、作付面積（主食用）が前年産に比べ6,500ha増加の4万3,700haとなったためである。

2 作況単収指数は101となった。  
各作柄表示地帯の作況単収指数は表のとおりである。

図1 作柄表示地帯別10 a 当たり収量  
（生産者が使用しているふるい目幅ベース）



参考

令和7年産水稻のふるい目幅1.70mmベースの収穫量（主食用）は27万500 tで、前年産に比べ3万8,700 t増加となった。

以上の内容について、10月25日現在の公表値から変更なし。

表 令和7年産水稻の作付面積（主食用）、10 a 当たり収量及び収穫量（収穫期）

| 区 分     | 作付面積<br>（主食用） | 生産者が使用しているふるい目幅で選別    |      |                          | ふるい目幅1.70mmで選別        |      |                             | 作況<br>単収<br>指数 |
|---------|---------------|-----------------------|------|--------------------------|-----------------------|------|-----------------------------|----------------|
|         |               | 10 a 当 たり<br>収 量<br>① | 対前年比 | 収 穫 量<br>（主食用（生産者ふるい上米）） | 10 a 当 たり<br>収 量<br>② | 対前年比 | 収 穫 量<br>（主食用（生産者ふるい下米含む。）） |                |
|         | ha            | kg                    | %    | t                        | kg                    | %    | t                           |                |
| 青 森     | 43,700        | 596                   | 100  | 260,500                  | 619                   | 99   | 270,500                     | 101            |
| 青 森     | ...           | 588                   | 101  | ...                      | 613                   | 101  | ...                         | 102            |
| 津 軽     | ...           | 599                   | 98   | ...                      | 623                   | 98   | ...                         | 98             |
| 南 部・下 北 | ...           | 592                   | 103  | ...                      | 613                   | 103  | ...                         | 108            |

注：1 ①10 a 当たり収量は、過去5か年に生産者が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅（青森県は1.90mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。  
2 ②10 a 当たり収量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。  
3 作況単収指数は、生産者が使用しているふるい目幅ベースで算出した10 a 当たり収量の前年産までの5か年中3年平均（最高、最低除く。）に対する10 a 当たり収量の比率である。  
4 作柄表示地帯別の作付面積（主食用）、収穫量（主食用（生産者ふるい上米））及び収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む。））については、新規需要米（飼料用を含む。）、備蓄米、加工用米等の作付面積を把握していないことから「…」で示した。

- 作付面積（主食用）とは、青刈り面積を含めた水稲全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
- 10 a 当たり収量及び収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は、生産者が使用しているふるい目幅（青森県は1.90mm）で選別された玄米の重量である。
- 10 a 当たり収量及び収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む。））は、ふるい目幅1.70mmで選別された玄米の重量である。
- 作況単収指数は、生産者が使用しているふるい目幅ベースで算出した10 a 当たり収量の前年産までの5か年中3年平均（最高、最低除く。）に対する10 a 当たり収量の比率である。

図2 令和7年産水稲作況標本筆の10 a 当たり収量の分布状況（青森）  
（生産者が使用しているふるい目幅ベース）（収穫期）

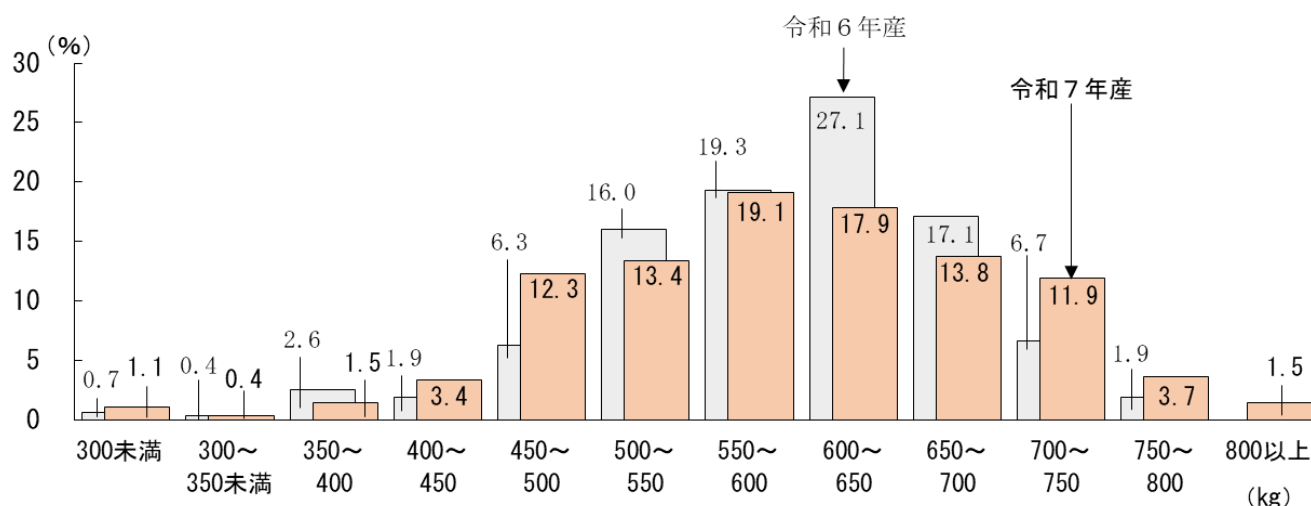
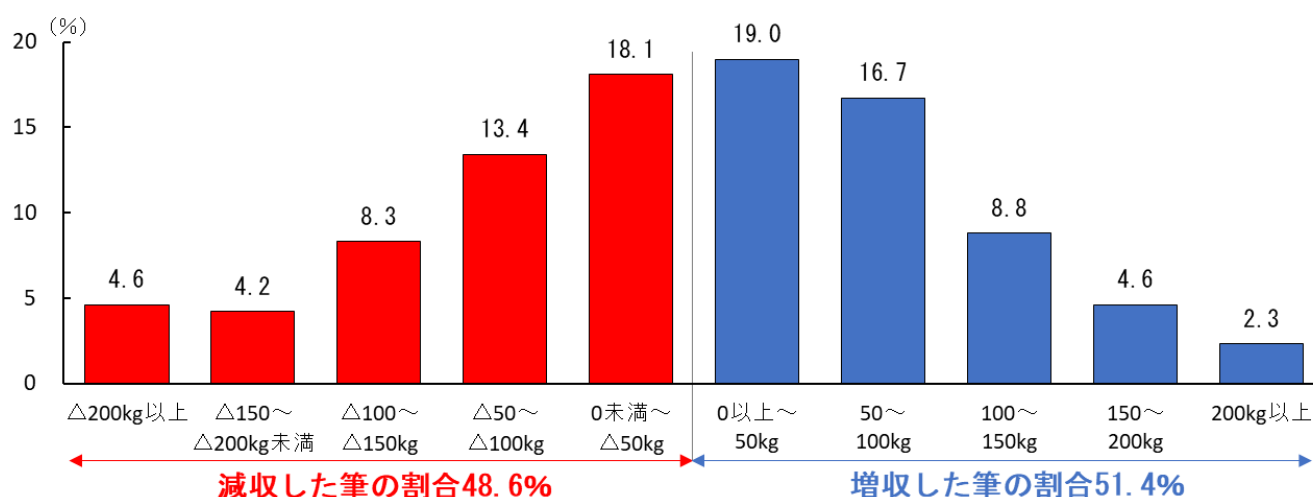


図3 令和7年産水稲作況標本筆の10 a 当たり収量の前年差の分布状況（青森）  
（生産者が使用しているふるい目幅ベース）（収穫期）



お問合せ先

東北農政局 青森県拠点 統計担当  
電話：017-734-5511（直通） 内線 128